【別紙様式】

学力向上に効果のある取組事例

別府市立鶴見小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

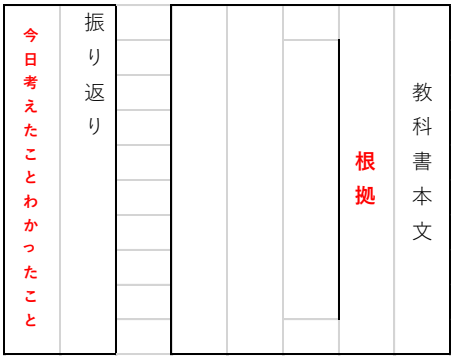
〇総合的な学習の時間での探究学習を通して
「別府市、国東市の魅力を知り
お互いの地域のよさを交流しよう」（3・4年時）

学習活動1　〇別府の見どころを見学したり、調べたりしよう。
学習活動2　〇校区から市へ広げ、見どころ探しをしよう。
別府市の自然の中に隠れている色をさがそう。
学習活動3　〇身の回りの自然のものから絵の具を作ってみよう。
発表会の準備をしよう。（以上3年時）
学習活動4　〇別府市の見どころを伝える、国東市の特産品を知る等、地域のよさを交流しよう。（4年生）

☆身近な別府の見どころから、血の池地獄や伽藍岳の岩石から色を作り出す体験をした。それぞれの場面で、自ら課題をもち、それを解決しようとペア・グループ学習を進めた。自分たちの課題からスタートすることで、主体的に学習する意欲につながった。そこでの学習サイクルが、教科学習にも生かされている。

取組の具体②

〇教科の学習を通して

【国語】
文章を丁寧に読みこむ。
自分が大切と思う、気になる箇所にサイドラインを引く。
行間に、どうして引いたのか、根拠を書き込む。
サイドラインの箇所と根拠の交流から、主課題を決める。 課題に対してのペア・グループ学習。
友だちの考えとすり合わせ、解決する。
今日考えたことやわかったことを振り返りに書く。
【算数】
教科書問題を自ら解く。
解き方の交流。
どの解法が間違いなくできるかを根拠とともに、ペア・グループ学習で交流をし、まとめる。
さらに、レベルの高い問題も含め、演習問題を数多く解く。

☆総合的な学習の時間の学習過程が各教科にも生かされ、主体的に学ぶ集団となった。